※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅲ	2	3	英語長文問題演習【必修編】（桐原書店） 英語長文問題演習【必修編 Plus）（桐原書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な話題の長文を読み、演習を行います。指示語やディスコースマーカーに留意し、段落ごとに内容を把握し、文構造を理解してさらに詳細を理解する中で、様々な語句のふるまいを知ります。話題のジャンルごとに語彙力を構築し、それをさらに他の文脈でも使える本物の語彙力に発展させます。それぞれの話題についてさらに深く学び、視野を広めます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話されるさまざまな分野のスピーチや対話、討論、講義などをメモをとりながら聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・日常的な会話から社会的な話題や時事問題などさまざまな種類のテーマに関する会話やスピーチ、講義などを聞いて、内容に関して、英語で質疑応答できる。 ・それぞれの情報の間の論理的な関係について理解することができる。 ・自然な速さで話されるニュース、テレビ番組や映画などを、映像をヒントに要点を聞きとることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。	・数段落から成るトピックの評論文や説明文(700 語程度)を一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・評論・エッセイを表面的な意味理解をしたうえで、その書き手の意図や目的などを理解することができる。 ・パラグラフ内の構造やパラグラフ間の構造を意識して読むことができる。 ・辞書に頼りすぎないで、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。	・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見や考えなどについて相手に説明したり、また発表された相手の情報や考えに対して質問するなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて自分の意見をまとめ、また相手の主張を即座にまとめて、それに対して、理由と具体的な事例を与えたりしながら建設的に反論することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめ、発表することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。 ・知識のある社会的なテーマについて、情報を整理し要点とともに自分の意見を述べることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。 ・発表の際には抑揚やジェスチャー、声の強弱など、たくさんの方法を用いて伝えることができる。	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落から成る英文を書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細を 100 語程度の英文に要約できる。 ・与えられたトピックに関して、一定の準備時間で自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書くことができる。 ・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を 5 パラグラフの形式で書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４ 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	<言語> 子供の言語発達と親のできること <コミュニケーション> 電話をする飼い主にすりよってくる猫	読むこと	a: 文章の論理展開を把握し、概要を捉えることができる。 b: 書き手の目的や意図などを理解することができる。 c: 背景知識を活用しながら未知の語の意味を推測し、本文の理解に努めることができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の意見や考えを相手に説明するための論理展開や表現方法を理解することができる。 b: 多様な話題について、自分や相手の意見をまとめ、具体性をもって主張を展開できる。 c: 他者と積極的に協働し、建設的な議論ができる。	取り組み観察
		話すこと （発表）	a: 相手に正しく情報を伝えるために、適切な文法表現を用い、わかりやすく話の展開ができる。 b: 情報を整理し、要点とともに自分の意見を述べることができる。 c: 抑揚やジェスチャー、声の強弱など、多様な手段を用いて伝えることができる。	パフォーマンス試験
		書くこと	a: 自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書く方法を理解している。 b: まとまりのある文章の要点や詳細を要約したり、書いた内容を読み返して推敲することができる。 c: 多様なトピックに対して、自分の意見を書くことができる。	提出課題
	中間考査			
	<文化> タング族のスポーツに見る文化による価値観の違い <宇宙> 火星探査の意義とマスメディアの反応	読むこと	a: 文章の論理展開を把握し、概要を捉えることができる。 b: 書き手の目的や意図などを理解することができる。 c: 背景知識を活用しながら未知の語の意味を推測し、本文の理解に努めることができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の意見や考えを相手に説明するための論理展開や表現方法を理解することができる。 b: 多様な話題について、自分や相手の意見をまとめ、具体性をもって主張を展開できる。 c: 他者と積極的に協働し、建設的な議論ができる。	取り組み観察
		話すこと （発表）	a: 相手に正しく情報を伝えるために、適切な文法表現を用い、わかりやすく話の展開ができる。 b: 情報を整理し、要点とともに自分の意見を述べることができる。 c: 抑揚やジェスチャー、声の強弱など、多様な手段を用いて伝えることができる。	パフォーマンス試験
		書くこと	a: 自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書く方法を理解している。 b: まとまりのある文章の要点や詳細を要約したり、書いた内容を読み返して推敲することができる。 c: 多様なトピックに対して、自分の意見を書くことができる。	提出課題
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2	<化学> 薬の開発にみる科学技術と自然のコラボレーション <言語・社会> アメリカに押し寄せる移民とアメリカの言語	読むこと	a: 文章の論理展開を把握し、概要を捉えることができる。 b: 書き手の目的や意図などを理解することができる。 c: 背景知識を活用しながら未知の語の意味を推測し、本文の理解に努めることができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の意見や考えを相手に説明するための論理展開や表現方法を理解することができる。 b: 多様な話題について、自分や相手の意見をまとめ、具体性をもって主張を展開できる。 c: 他者と積極的に協働し、建設的な議論ができる。	取り組み観察
		話すこと （発表）	a: 相手に正しく情報を伝えるために、適切な文法表現を用い、わかりやすく話の展開ができる。 b: 情報を整理し、要点とともに自分の意見を述べることができる。 c: 抑揚やジェスチャー、声の強弱など、多様な手段を用いて伝えることができる。	パフォーマンス試験
		書くこと	a: 自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書く方法を理解している。 b: まとまりのある文章の要点や詳細を要約したり、書いた内容を読み返して推敲することができる。 c: 多様なトピックに対して、自分の意見を書くことができる。	提出課題
	中間考査			
	<社会> テレビにおける暴力とその子供への影響 <環境> 世界の食料危機 <科学技術> 遺伝子組み換え植物の画期的側面	読むこと	a: 文章の論理展開を把握し、概要を捉えることができる。 b: 書き手の目的や意図などを理解することができる。 c: 背景知識を活用しながら未知の語の意味を推測し、本文の理解に努めることができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の意見や考えを相手に説明するための論理展開や表現方法を理解することができる。 b: 多様な話題について、自分や相手の意見をまとめ、具体性をもって主張を展開できる。 c: 他者と積極的に協働し、建設的な議論ができる。	取り組み観察
		話すこと （発表）	a: 相手に正しく情報を伝えるために、適切な文法表現を用い、わかりやすく話の展開ができる。 b: 情報を整理し、要点とともに自分の意見を述べることができる。 c: 抑揚やジェスチャー、声の強弱など、多様な手段を用いて伝えることができる。	パフォーマンス試験
		書くこと	a: 自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書く方法を理解している。 b: まとまりのある文章の要点や詳細を要約したり、書いた内容を読み返して推敲することができる。 c: 多様なトピックに対して、自分の意見を書くことができる。	提出課題
	期末考査			
3	<健康> ストレスの功罪 <生物> キリンの首の真実 <物語> ある村の賢者	読むこと	a: 文章の論理展開を把握し、概要を捉えることができる。 b: 書き手の目的や意図などを理解することができる。 c: 背景知識を活用しながら未知の語の意味を推測し、本文の理解に努めることができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の意見や考えを相手に説明するための論理展開や表現方法を理解することができる。 b: 多様な話題について、自分や相手の意見をまとめ、具体性をもって主張を展開できる。 c: 他者と積極的に協働し、建設的な議論ができる。	取り組み観察
		話すこと （発表）	a: 相手に正しく情報を伝えるために、適切な文法表現を用い、わかりやすく話の展開ができる。 b: 情報を整理し、要点とともに自分の意見を述べることができる。 c: 抑揚やジェスチャー、声の強弱など、多様な手段を用いて伝えることができる。	パフォーマンス試験
		書くこと	a: 自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書く方法を理解している。 b: まとまりのある文章の要点や詳細を要約したり、書いた内容を読み返して推敲することができる。 c: 多様なトピックに対して、自分の意見を書くことができる。	提出課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度